

こころ便り

第268号

令和4年7月

〒079-1434
兵庫県たつの市新宮町大屋六六ハ一十二
株式会社 新宮運送グループ
代表/木南 一志
kininami@shingu.co.jp
電話 079-11-75-1212



新宮運送ホームページ

値上げの秋

暑い夏がやってきました。そのうえ、停電の心配をしながらクーラーのスイッチを入れるべきか我慢すべきかと悩みつつ日常を過ごさねばなりません。昭和、平成の時代には無かったことが次々に到来してきます。新型コロナウイルスだけの影響ではなく、戦争や経済活動などの時代の流れの中で必要であるから価値観が変わっていくともいえます。燃料は大幅な値上げとなっていますが、秋に向けても多くの値上げが発表されて心配の種がたくさんあります。給与は上がらないまま、値上げばかりされると生活は困窮していきます。給与を上げるために会社も値上げしていかなくては倒産してしまいます。

安く安くを求めてきた結果、日本の国全体が安物になってしまいました。舵取り役の政府や官僚も自ら安物になって、選挙に勝つことだけを考えていると見えます。安いことがいいことではなく、高くても長く使えるようにすれば結果として安くなることを私たちの先人は教えてくれたはずで、皇室に伝わる伝統にもそれは示されています。歴史から学ぶことを忘れて、目先の利益を追いかけるという習慣が大企業の中にグローバルという合言葉

で生まれてきたのは、そう昔のことではありません。

高い品質のモノをより安く生み出すという工夫をするのが、日本の得意技でもありました。現場の知恵を集めたQC活動などで改善を重ねて、より良いものを作ってきたはずが、自分たちの自信ある仕事を自ら安物にかえてきてしまったのです。JIS規格も今やISOに自分たちから変えてしまっています。これは、仕事に対する誇りを失ったからではないかと私は考えています。

自らの国を自分たちで守ろうとしない、そんな無責任さや米国任せの軍事力に頼るといふ厳しい現実から目を背けてきたツケが「世界に迎合する」・・・いや、ペコペコ寄り寄っていく生き方になってしまったのではないかと思えるのです。

厳しい現実には、間もなくやってきます。逃げることはできません。しっかりと見据えながら足下を固めてまいりましょう。

今、やれることを実行する。自分の責任を果たすことが始まりなのです。

被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拝

尋常小學校修身書 卷六 兒童用

第二十五課 教育に關する勅語

教育に關する勅語は明治二十三年十月三十日、明治天皇が我等臣民のしたがい守るべき道徳の大綱をお示しになるために下し賜はつたものであります。

勅語を三段に分けますと、其の第一段には

朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ徳ヲ樹ツルコト深厚ナリ我カ臣民克ク忠ニ克ク孝ニ億兆心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セルハ此レ我カ國體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦實ニ此ニ存ス

と仰せられてあります。

この一段には、まづ皇室の御祖先が我が國をお始めになるにあたつて、其の規模がまことに廣大で且いつまでも動かないやうになされたこと、御祖先はまた御身をお修めになり、臣民をお愛しみになつて、萬世にわたつて御手本をおのこしになつたことを仰せられ、次に臣民は君に忠義を盡し親に孝行を盡すことを心掛け、皆心を一つにして代々忠孝の美風を全うして來たことを仰せられてあります。終に以上のことが我が國體のきつするなりつばな所であり、我が國の教育の基づく所もまたここにあることを仰せられてあります。

NPO法人 愛ランド様の協力で障害を持つ皆さんが宛名貼り、封入作業をしてお届けさせて頂いておりました。